

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 大川、山本 以上2名
2. 山城／ルート 雪彦山 (三峰東稜、地藏岳東稜すべり台、凹角ルート)
3. 交通手段 車
4. 行動記録

<入山日 2020年10月3日 日帰り>

第1日 7:45 東屋発→8:30 三峰取付き→8:40 三峰東稜クライムオン→3P→10:00 三峰の頭  
→懸垂下降 20m→不行岳南東壁のコル→不行岳南東壁沿いに下降→10:30「温故知  
新」2p目のビレイステーション→懸垂下降 40m→「温故知新」取付き→不行沢少  
し下る→11:15 地藏東稜取付き→3P→すべり台取付き→1P→遭難碑下→凹角ル  
ート取付き→3P→14:45 地藏岳ピーク  
→15:45 東屋 全10P 懸垂下降2回

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由  
予定通り行動。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

最終ピッチで、Oのトランシーバの電池カバーがはがれた。その後のコールは肉声で行  
った。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

持参した超小型トランシーバは電池カバーがはがれやすい構造なので、今後インシュロ  
ックでつなげるかテープで仮固定するか、処置をしたほうが良い。

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・三峰東稜 1 P (IV A1) はアブミでクリアした。
- ・三峰東稜 2 P はトポ図にある左手のチムニーを通らず、中央にペツルの中間支点が続  
いていたのでそのルートを通じた。
- ・懸垂下降 2 回は着地点が目視で確認できたので、やり易かった。
- ・錬成山行のためにトレーニングしてきたことが、生かせてよかった。
- ・マルチピッチの継続登攀で最終ピークに到達できて、充実した山行になった。

報告者氏名 大川 肇

2020年10月5日